

平成 28 年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	普及	題名	品種 切り餅加工適性に優れる早生糯水稻「ふ系糯234号」		
[要約] 「ふ系糯234号」は、「カグヤモチ」と比較して餅のこしが強くなめらかな舌触りで切り餅加工適性に優れる。出穂期、成熟期とも「カグヤモチ」と同等の“早生の中”に属する。穂発芽性は“難”であり、いもち病抵抗性は“極強”と優る。収量性は同等である。					
キーワード	ふ系糯234号	糯米	加工適性	県北農業研究所 作物研究室	

1 背景とねらい

平成元年に準奨励品種に編入された「カグヤモチ」は、九戸村の糯団地を中心に県中北部で栽培され、県内の平成 27 年作付面積(推定)は約 100ha である。「カグヤモチ」は穂発芽しやすい特性があり、品質低下が問題となっている。そのため、生産者や実需者から県中北部での糯米品質の向上が強く求められている。

「ふ系糯 234 号」は、「カグヤモチ」と同等の熟期で、穂発芽しにくく、いもち病抵抗性、切り餅加工適性に優れる早生の糯米として有望であることから、その特性を紹介する。

2 成果の内容

「ふ系糯 234 号」は“早生の中”に属し、優れた切り餅加工適性と栽培特性（耐病性、穂発芽性）を兼ね備えた糯水稻である。

(1) 来歴

「ふ系糯 234 号」は、2005 年に青森県農林総合研究センター藤坂稲作研究所（現地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所藤坂稲作部）において「ふ系 210 号」と「ふ系 198 号（後のゆきのはな）」の F₁ を母、「ふ系糯 213 号」を父として人工交配を行った雑種の後代である。

(2) 「ふ系糯 234 号」の特性概要（表 1）

- ア 出穂期・成熟期は「カグヤモチ」並みの“早生の中”に属する。稈長、穂長、穂数はいずれも「カグヤモチ」並みである。
- イ 草型は“偏穂重型”で、耐倒伏性は「カグヤモチ」並みの“やや強”である。芒は“無”、ふ先色は“褐”、脱粒性は“難”である。
- ウ 収量及び玄米千粒重は「カグヤモチ」並みである。
- エ 玄米の外観品質は「カグヤモチ」並みである。
- オ いもち病真性抵抗性遺伝子型は“*Pia*”と推定される。圃場抵抗性は葉いもち、穂いもちとも“極強”であり「カグヤモチ」より優れる。
- カ 穂発芽性は“難”で「カグヤモチ」より優れる。
- キ 障害型耐冷性は「カグヤモチ」並みの“強”である。
- ク 餅の品質は、こしの強さ及び舌触りのなめらかさが「カグヤモチ」より優れる。また、硬化が早いことから切り餅加工適性も優れる（表 2、図 1）。

3 成果活用上の留意事項

栽培法は現在試験中である。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等

栽培適地は、県北部の標高 240m 以下及び県中南部の標高 240m 以上 350m 以下の地帯とする。

(2) 期待する活用効果

早生糯品種の安定生産及び販売数量の拡大

普及見込み面積は 140ha である。

5 当該事項に係る試験研究課題

(803) 水稻奨励品種決定調査[H14~30/県単]

6 研究担当者

齊藤智宏、下川原智

7 参考資料・文献

・平成 23 年度 水稻育成系統配布に関する参考成績書 地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所藤坂稲作部

8 試験成績の概要（具体的なデータ）

表 1 特性の一覧表

調査地	青森農林総研藤坂稲作部		県北農業研究所（軽米町）				奨励品種決定現地調査	
調査年次	平成 22～25 年		平成 25～28 年				平成 25～28 年	
系統名・品種名	ふ系糯 234 号	カグヤモチ	標肥		多肥		ふ系糯 234 号	カグヤモチ
			ふ系糯 234 号	カグヤモチ	ふ系糯 234 号	カグヤモチ		
早晩性	早生	中生早	早生の中	早生の中	早生の中	早生の中	早生の中	早生の中
草型	偏穂重型	穂重型	偏穂重型	穂重型	偏穂重型	穂重型	偏穂重型	穂重型
出穂期（月日）	8 月 1 日	8 月 2 日	7 月 31 日	8 月 2 日	7 月 31 日	8 月 2 日	8 月 3 日	8 月 3 日
成熟期（月日）	9 月 8 日	9 月 8 日	9 月 13 日	9 月 15 日	9 月 12 日	9 月 14 日	9 月 20 日	9 月 19 日
稈長（cm）	75	77	70	69	73	71	77	76
穂長（cm）	18.2	18.4	16.9	17.4	17.4	17.8	17.2	17.6
穂数（本/m ² ）	400	411	381	373	413	405	363	382
芒の多少・長短	無	無	-	-	-	-	-	-
ふ先色	褐	褐	-	-	-	-	-	-
脱粒性	難	難	-	-	-	-	-	-
耐倒伏性 ^{注1)}	やや強	やや強	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)
穂発芽性	難	易	-	-	-	-	-	-
障害型耐冷性	強	強	-	-	-	-	-	-
耐病性	遺伝子型（真性）	<i>Pia</i>	<i>Pia</i>	-	-	-	-	-
	遺伝子型（圃場）	<i>Pi35</i>	-	-	-	-	-	-
	葉いもち（圃場）	極強	強	(無)	(無)	(無)	(無)	(無)
	穂いもち（圃場）	極強	強	(無)	(無)	(無)	(無)	(無)
玄米収量（kg/a）	61.5±3.8	60.1±4.4	56.8±4.9	55.4±6.5	60.5±4.3	57.4±5.1	60.4±6.9	60.5±7.5
対比較比	102	(100)	103	(100)	105	(100)	100	(100)
玄米千粒重（g）	21.4	21.0	21.1	21.3	21.2	21.3	20.8	20.7
品質（検査等級） ^{注2)}	2 上	2 上	4.9	5.0	5.6	5.6	3.1	3.8
玄米白度 ^{注3)}	-	-	28.0	28.8	27.4	28.6	-	-
白米白度 ^{注4)}	-	-	55.3	54.8	54.5	54.0	-	-

注 1) 県北農業研究所及び現地試験は、0（倒伏なし）～5（完全倒伏）の 6 段階評価を平均したもの。

注 2) 県北農業研究所及び現地試験の検査等級は、1 上～3 下、規格外をそれぞれ 1～9、10 とし、平均したもの。

注 3) 1.9mm 調整済みの玄米を Kett 社白度計 C300-3 により測定し平均したもの。

注 4) サタケ社製マジックミルにより搗精歩合を 90～91%とした白米を、Kett 社製白度計 C300-3 により測定し平均したもの。

表 2 餅加工適性評価

総合評価	H25 年産	H26 年産
	ふ系糯 234 号は伸びが弱い点があるがなめらかさと甘みがあり、硬化も速いことから加工適性も優れた品種と考えられる。	ふ系糯 234 号は餅の甘みが少し弱い、なめらかな舌触りでこしが強く適度な伸びがあり加工適性は優れた品種と考えられる。

注) H25～26 新潟県 S 社による評価（カグヤモチを基準）

（概評）こしの強さとなめらかな舌触りに評価が高い。硬化が早いことから切り餅加工適性に優れる。

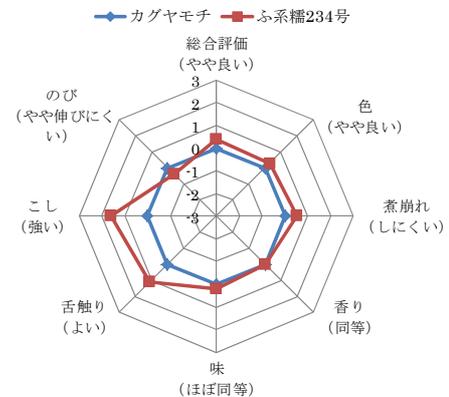


図 1 餅食味官能試験の結果 (H25～26 新潟県 S 社による評価を平均したもの。-5～+5 の 11 段階で評価)